



分科会② 水質 近くの川は きれいですか



●ファシリテーター
広島国際学院大学
里 太介 氏



●ファシリテーター
広島工業大学
高尾 健治 氏



1日目・10/11sat.



世界子ども水フォーラム参加者による状況説明。

講義「ワークショップについて」中国・地域づくり交流会の下田卓夫さん。

Workshop

「水質」はわたしたちの一番身近な問題です。わたしたちの分科会の仲間には、近くの川が、とても汚れているため学校のクラブ活動や地域の活動で水質調査をしている人が何人もいました。

下水道の計画をしているアドバイザーが「川には、水の中にいるたくさんの微生物が汚れを空気と一緒に食べて分解してくれるという不思議な力“自浄作用”があります。でも、人間が生活すればするほど、人間が便利にしようと思えば思うほど川は汚れてしまうのです。川の自浄作用以上のものが流れてくるからどうしようもなくなるのです。処理場をつくって川の水をきれいにしても、窒素やリンなど栄養をたくさん含んだ水が川を通って海にたまって微生物が増えすぎてしまう。それが死んでまた海を汚しているのです」と、私たちの生活と川や海の関係を説明されました。

水質調査を続けていくことはもちろん大切なことです。これから、わたしたちに何ができるかを考えました。

…で、私たちが考えたこと。

- 川にごみを捨てないようにしよう。
- 環境を守る輪を仲間や地域に広げていこう。
- 生き物を守るために、自然の小川を残していくたいね。
- 子どもにきれいな川を残してほしい。大人の考え方を変えさせるには、どうしたらいいんだろう。
- ちょうどよい量作って、食べ残しを減らそう。
- 自分の町の川を知ろう。
- 水質低下の原因である生活廃水を減らす努力をしよう。(たとえば、汚れたお皿は拭いてから洗う)きれいな川に「する」のではなく、きれいな川に「もどす」。
- みんなできれいな川をまず体験して、水質をよくする活動のきっかけをつくろう。
- 都会の川にビオトープを増やそう。
- 水質を浄化する植物のことを知らないくちゃ。
- 水質など自分たちが調べたことを周りの人に知らせて、水を汚さないよう、みんなに伝えよう。ホームページを活用しよう。
- きれいな川はよりきれいに、きたない川もきれいに。私たちがちょっとずつがんばろう。
- 森と海を大切にしよう。
- よその地域とネットワークして、みんなで意識を高めよう。
- 川に興味を持とう。
- 川は人間だけのものじゃない。動物たちのことを考えよう。



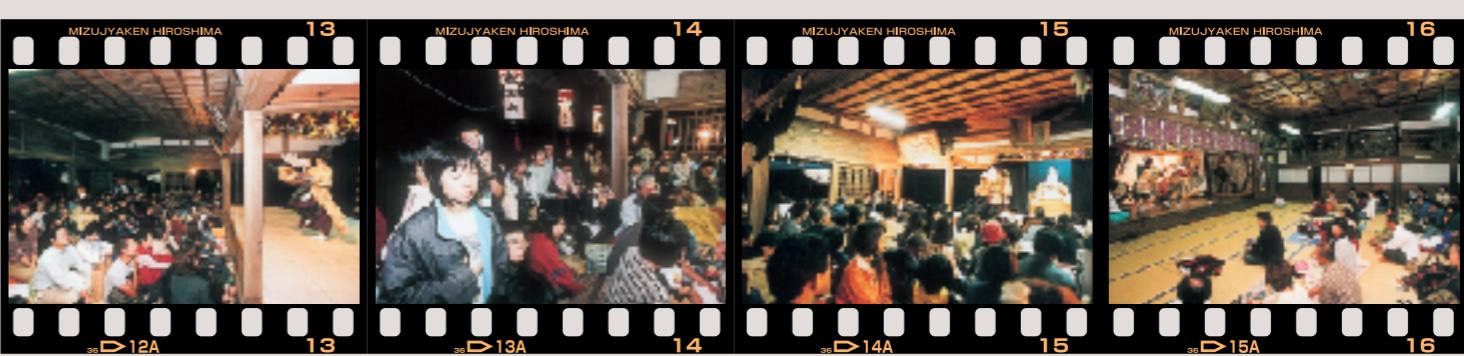
●アドバイザー
広島市下水道建設部企画課課長
向井 正博 氏



●アドバイザー
中国地方整備局広域水管管理官
永田 智久 氏



●アドバイザー
中国・地域づくり交流会
賀島 勝己 氏



自由時間を利用して長尾神社、着天神社にて神樂を楽しみました。この他の映画上映やWeb交流の紹介なども行われました。



世界子ども水フォーラム・フォローアップin広島

川をきれいにするキーワードは3つ。水を愛そう。水に「親しむ」。多くの人に「伝える」。水についての情報を「知る」、そして知識を高めよう。考えるより行動しよう。みんながちょっとだけがんばると、水をきれいにすることできるんだね。川を知れば世界がわかる。川がきれいになれば心もきれいになる。